

2026年度第60回さいたま市南部サッカー少年団春季大会 実施要項

1. 目的 サッカー競技を通して、少年少女の心身の健全な発達と技術の向上並びに友情を深めるとともにフェアプレーの精神を養う。
2. 主催 公益財団法人 さいたま市スポーツ協会スポーツ少年団本部
3. 主管 さいたま市南部U-12サッカー指導者協議会
4. 後援 公益財団法人 さいたま市スポーツ協会
浦和ロータリークラブ
5. 期日 2025年4月4日（土）～26日（日）（予定）
会場 レッズハートフルフィールド駒場 荒川総合運動公園 大間木公園
市内小学校グラウンド
6. 参加資格 (1) さいたま市南部少年サッカー指導者協議会に加盟・登録したチームであること。
(2) 2025年度さいたま市スポーツ少年団本部に登録された選手であり、スポーツ安全障害保険に加入済みであること。なお、登録後の入団者についても参加を認める。
7. 参加チーム (1) Aチームの部及びBチームの部に分け、それぞれを参加チームとする。
 <Aチームの部>
 ・6年生が1名以上の場合は、Aチームの部で参加する。ただし、6年生女子についてはこの限りではない。
 <Bチームの部>
 ・Aチームの部にエントリーされていない6年生及び同じくAチームの部にエントリーされていない5年生以下は、Bチームの部で参加する。
(2) 選手登録は、Aチームの部及びBチームの部ともに20人以内とし、それぞれにエントリー表を提出する。
 * Aチームの部に登録された選手は、Bチームの部に出場できない。
 * Aチームの部に登録された選手が風邪等により不足する場合は、Bチームの部に登録された選手を補充することができる。ただし、一度Aチームの部に登録された選手はBチームの部には戻れない。
(3) 次の条件のすべてを満たすチームは2チームの参加を認める。
 ① 17人以上の6年生（Bチームの部は5年生）を登録し、両チームに1人以上の6年生（Bチームの部は5年生）を選手登録すること。
 ② エントリー表に記載する監督・コーチは重複しないこと。
 ③ 有資格の審判員を2名以上帯同できること。
(4) 合同チームは、別添「合同チームにおける参加基準」に準じる。
 ※2025年8月26日発行 合同チームにおける参加基準

8. 大会形式 (1) 予選ラウンド (Aチームの部・Bチームの部共通)
リーグ戦方式とする。
参加チームを12ブロックに分け1次リーグを行う。
1次リーグ各ブロック上位1チームにより2次リーグを行う。
1次リーグ及び2次リーグの順位決定方法は、次のとおりとする。
①勝点 (勝点: 勝-3点 引分け-1点 負-0点)
②得失点差 ③総得点 ④対戦相手との勝敗 ⑤抽選
- (2) 決勝ラウンド (Aチームの部・Bチームの部共通)
トーナメント方式とする。
2次リーグ4ブロック上位1チームにより準決勝、決勝を行う。
3位決定戦は行わない。
9. 競技規則 2025/2026の日本サッカー協会競技規則及び8人制サッカー競技規則による。
10. 大会規定 以下の項目については、本大会の規定を定める。
- (1) 競技のフィールド
競技のフィールドは68m×50mを基準、ゴールは5m×2.15mとする。
その他のサイズについては、8人制サッカー競技規則による。
- (2) 試合球
試合の使用球は、JFA公認4号ボールとする。(各チーム持寄り)
*準決勝・決勝は大会本部にて準備する。
- (3) 競技者の数
①1チーム8人の競技者によって行い、競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
6人以上で、試合は成立とする。
②退場者が出た場合は、交代要員の中から競技者を補充することができる。
③交代要員の数は、12人以内とする。
- (4) ベンチ入りするチーム役員の数
ベンチ入りできるチームの役員は、監督・役員(指導者)2人以上5人以下とする。
- (5) 競技者の用具・ユニフォーム
①日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
また、正副のユニフォームを、エントリー表に記載し、試合ごとに必ず携行する。
なお、正副の2色については明確に異なる色とする。
②選手の用具の運用については、下記のとおりとする。
・ソックステープ等の色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
・アンダーシャツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
・アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。ただし、ビブス等は不可とする。
③ポイント取替式のスパイクの使用は認めない。

(6) 試合時間

- ①試合時間は40分（前後半各20分）とする。
ハーフタイムのインターバルは原則5分間とする。
なお、必要に応じて競技時間内に、飲水タイムを実施する。
- ②準決勝戦において規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、ペナルティーシュートアウトにより勝者となるチームを決定する。
- ③決勝戦において規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、10分（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合は、ペナルティーシュートアウトにより勝者となるチームを決定する。
延長戦に入る前のインターバルは5分、ペナルティーシュートアウトに入る前のインターバルは1分とする。
- ④ペナルティーシュートアウトにより勝者となるチームを決定する場合は、出場中の競技者3人により行う。

(7) 選手交代

各試合のメンバー（20人以内）の範囲内で自由な交代とし、交代ゾーンを使用する。

- ①交代は、主審の承認を得ることなく、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。
- ②ゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーのときに、主審に通知し、主審の承認を得て行う。なお、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外へ出なければならない。
- ③ゴールキーパーとフィールドプレーヤーの入替えは、アウトオブプレーとなった時に、主審に通知し、承認を得て行なうことができる。
- ④交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(8) キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は、相手チームのゴールキックで再開する。

(9) 学級閉鎖の場合は、日程調整不可の場合は不戦敗とする。
但し、準決勝・決勝の場合は即時不戦敗となる。

11. 審判 チーム帯同審判員により、3人制で実施する。（Aチームの部・Bチームの部共通）
準決勝・決勝は、審判委員会からの派遣審判員にて4人制で行う。

12. 表彰 <Aチームの部> 優勝＝賞状・優勝杯・金メダル・優勝旗（持回り）
2位＝賞状・銀メダル
3位＝賞状・銅メダル（2チーム）
<Bチームの部> 優勝＝賞状・優勝杯（持回り）・金メダル
2位＝賞状・銀メダル
3位＝賞状・銅メダル（2チーム）

13. 表彰式 決勝戦終了後に、当該会場で行う。
閉会式 Aチームの部及びBチームの部ベスト4のチームが出席すること。

以上